

薩摩アスパラ生産組合が地元小学校で食育出前講座を実施

4 月 27 日に薩摩アスパラ生産組合の福原勉氏が、彦根市立稲枝北小学校の 4 年生 13 人を対象に「食育出前講座」を実施され、供給されたアスパラガスを使った給食と一緒に味わいながら給食への思いを伝えられました。当課では実施に向けて、小学校への出前講座の提案から講座内容の検討、生産者や関係機関との調整を行いました。

薩摩アスパラ生産組合では、5 戸約 80a のパイプハウス団地でアスパラガスを栽培されており、以前から学校給食にも供給されています。

この日は、持参されたグリーンやホワイト、紫、ピンクのアスパラガスを見せながらアスパラガスの栽培や給食への思いを説明されました。また、紫アスパラに熱湯をかけると緑に変化する実演を行い、児童たちの興味を引いていました。

その後給食の時間に、生産者と児童は「アスパラ入りミルクスープ」を食べながら、交流を深めていました。

当課では昨年度から、「給食用野菜を通じた食育推進事業」を活用して、給食用野菜の供給だけではなく生産者と児童をつなぐ取り組みの実施に向けて、「食育出前講座」の支援を行っています。今後も、このような生産者の思いや食の大切さを伝える取り組みが広がるように、食育を進めていきます。



生産者がアスパラ栽培を説明



給食を味わう生産者と児童